

新たなマーケティング手法への取り組み AIカメラを活用した顧客分析の実証実験を開始

そごう・西武は4月18日(月)から西武池袋本店、6月1日(水)からそごう大宮店の対象フロアにてAIカメラを活用した顧客分析の実証実験を開始します。

西武池袋本店の19年度年間来店者数は約7千万人と多くのお客さまにご来店をいただいております。しかしその中で取得できるデータは店舗全体の入店客数と商品を購入したお客さまの情報のみで、フロアに来場している多くのお客さまの情報は取得できていませんでした。そこでAIカメラを活用することで今まで明らかになっていなかった、フロアに来場したお客さまの数の把握と属性(性別・年代)を推定。取得したデータの分析でより精度の高い「テナントのリーシング」「売場施策」を実施します。

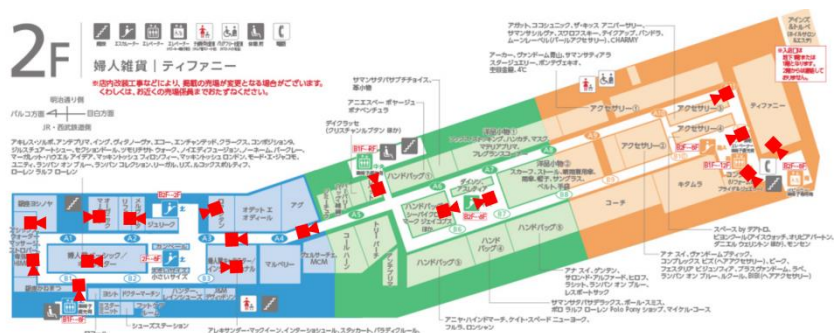
また今後は店内での顧客の買い回り情報取得へと発展させていく予定で、実店舗の顧客接点としての価値向上を目指します。将来的には購買データと組み合わせ、来店から販売に至るまで時系列での行動分析を行うことでRaaS(※)としての活用も目指します。※Retail as a Service の略称

実証実験概要

- 開始日: 西武池袋本店=4月18日(月)~/そごう大宮店=6月1日(水)~(予定)
- 実証実験対象フロア: 西武池袋本店 地下1階および2階/そごう大宮店 地下1階および2階
- AIカメラ設置台数: 西武池袋本店 29台・そごう大宮店 13台

■西武池袋本店2階の例: 2階に来場したお客さまの数と属性(性別・年代)を分析

▶ 顧客属性分析カメラ: 17台



■お客さまのプライバシーに配慮したデータ収集

今回の実証実験はIdein株式会社の技術を採用。同社が提供するエッジAIプラットフォームActcastを活用することで取得した情報をAIカメラ内での処理が可能となりました。そのため解析結果はテキストデータのみとなるため、お客さまのプライバシーにも配慮したデータ収集で個人を特定せずに情報を活用することができます。

顔画像/動画を取得せず、エッジでAI解析した
顧客属性・時間・場所・人数データを来客時のみ受信→



<Idein株式会社について>

安価な汎用デバイス上での深層学習推論の高速化を実現した、世界にも類を見ない高い技術力を有するスタートアップ。当該技術を用いたエッジAIによる現場データ収集プラットフォーム「Actcast」を開発し、実用的なAI/IoTシステムを開発・導入・活用する開発者及び事業会社へのサービス提供を行っております。

コーポレートサイト URL: <https://www.ideinj.jp>

※本リリースの掲載画像はイメージです。